

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		理学療法概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員		橋村康二	実務経験とその関連資格	6年間の臨床業務で回復期、生活期の経験を有する。また、15年の教育歴および修士課程修了の実績を有する。			
《授業科目における学習内容》							
理学療法の定義、理学療法士の業務内容、対象、活躍分野等を理解する。また、関連職種や理学療法士に関係する法律、社会保障制度を理解する。 加えて、理学療法士に求められるプロフェッショナリズムとは何かを考え、理学療法士になる者としての心構えを形成する。							
《成績評価の方法と基準》							
授業態度、出席状況30%、提出課題内容30%、筆記テストを40%として評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
理学療法学概説(医学書院OWL-P)							
《授業外における学習方法》							
教科書を用いて講義内容の予習・復習をする。							
《履修に当たっての留意点》							
課題の提出期限を厳守する事。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法の定義と理学療法の手段を説明できる		配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法の定義と理学療法の手段				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法の方法を理解する		配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法の具体的方法について講義する 主な運動療法を経験する				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法の方法を理解する		配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	主な物理療法を経験する 学内にある福祉用具に触れ、使用してみる				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法士の対象や活躍している病院や施設などを挙げることができる		配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法士の対象と活躍分野について講義する				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法士法・作業療法士法の概要を説明できる		配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法士法・作業療法士法を講義する				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法の臨床プロセスを説明できる ICIDHの概念を説明できる	配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法業務の臨床プロセスについて講義する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法の歴史と職能団体とその活動を説明できる 理学療法士としてのプロフェッショナリズムを自分なりに説明できる	配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法の歴史と職能団体とその活動、理学療法士としてのプロフェッショナリズムの概念を講義する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の概要を説明できる	配布資料	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	国家試験の概要を講義する。加えて、これまで学んだ内容に対応した問題を解いてみる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			